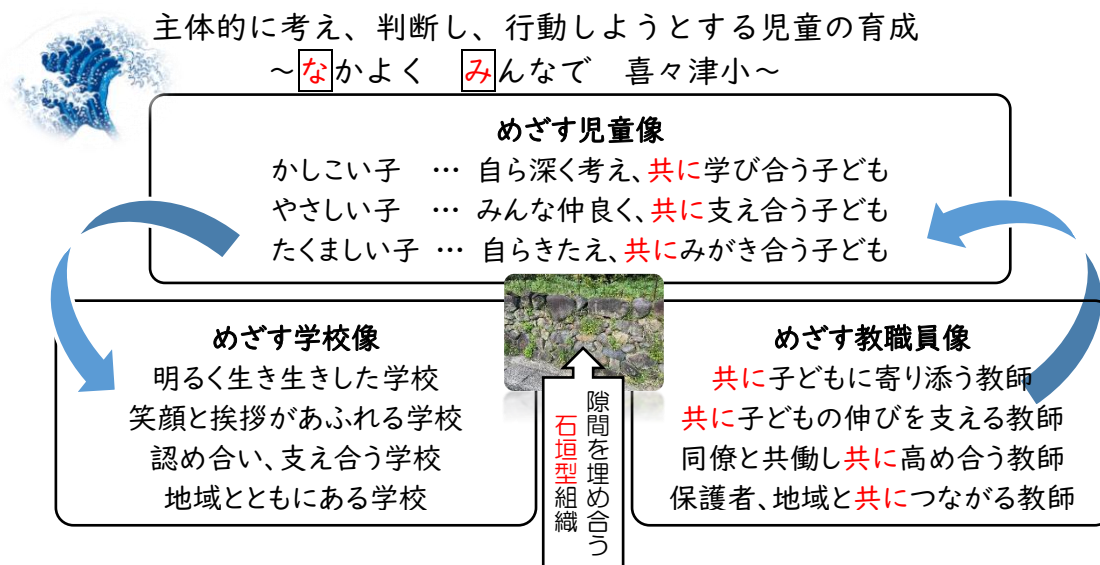


令和8年度 諫早市立喜々津小学校 学校経営方針

I 学校教育目標



2 目標達成に向けて（組織的側面）

（1）教室間の垣根をなくす

- ①担任だけでなく、複数の教師が授業や指導に入る
- ②複数の教師で不適応児童に効果的な関わりに

（2）即対応会議と事前会議

- ①不適応児童へのチーム対応で特定の教職員を疲弊させない
- ②起案前にチーム会（短時間・0ベース）を開き、精度を上げて効率化

（3）研究理論の全員実践

- ①オクリンクプラス等 ICT を活用した授業へ T R Y ！
- ②「自由進度学習」への挑戦

3 目標達成に向けて（個人的側面）

（1）かしこく・・・自ら深く考え、共に学び合う子ども

- 支持的風土が根底にある学級づくりに努める。
- 進んで考え、学び合う力を育てる。
- 協働的な学びの場を計画的に設ける。

（2）やさしく・・・仲間を知り、共に支え合う子ども

- 自他を大切にすることが出来る心を育てる。
- 仲間と協力し、共通の目標に向かって取り組ませる。
- 仲間や学級、社会に関心をもち、自分事として捉える。

（3）たくましく・・・自らきたえ、共にみがき合う子ども

- 体育の授業や体育的な活動を充実させ、体力づくりに努める。
- 互いに刺激を与えながら課題に挑戦し、向上心を高める。
- レジリエンスを高める。

（4）特別支援教育の充実

- 児童の特性を理解し、適切な支援について深く学ぶ。
- ユニバーサルデザインの視点による授業づくりを行う。
- 児童同士が助け合うことができる集団づくり、環境づくりを行う。